

PART1～現代親子はコミュニケーション不足～

父親は、平日に子供と過ごす時間が足りないと感じている 親子で過ごす時間≠親子コミュニケーション時間

- 平日、父親が子供と過ごせる時間は1日の中で4.2時間と少ない
- 3割以上の父親が、子供と過ごす時間を“足りていない”と感じている。
- 父親・母親ともに、子供と過ごしている時間に比べ、実際に会話をしている時間は半分程度という結果に

まずはじめに、3～12歳の子供をもつ父親・母親に、子供と過ごしている時間について聞いたところ、休日は父親・母親ともに10時間程度過ごしているものの、平日の父親は、1日のうち4.2時間しか過ごせていないという結果に。子供と過ごす時間への満足度でも、父親の3割以上が「足りない」と考えており、**父親は特に平日に「子供と過ごす時間が足りない」と考えていることがわかりました。**

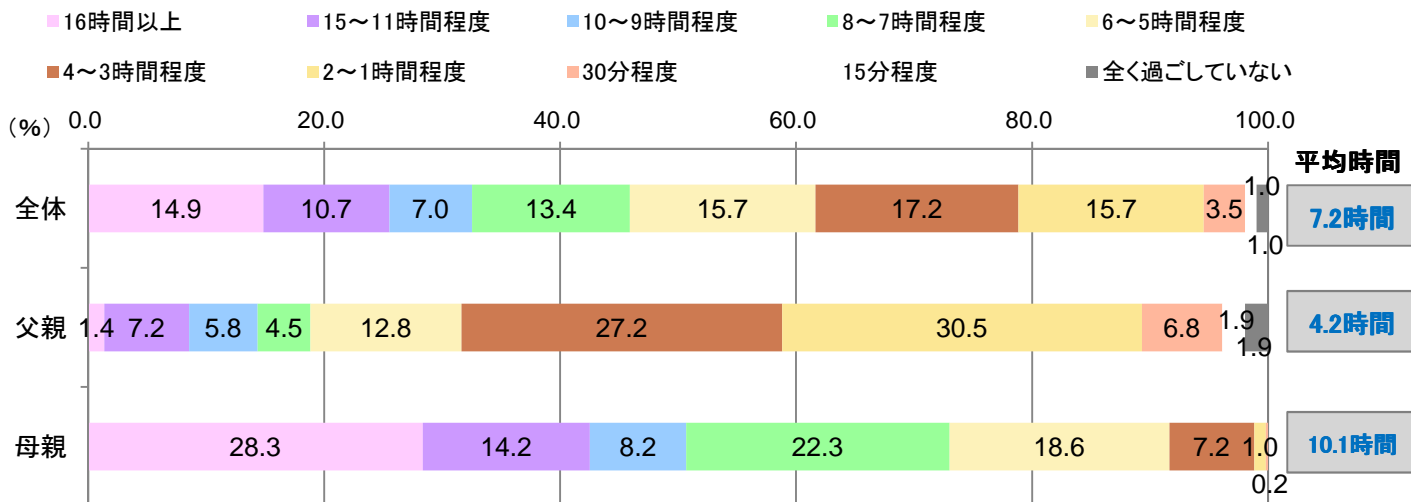
また、子供と実際にコミュニケーションをとっている時間を聞いたところ、一緒に過ごしている時間の半分程度という結果に。**親子で過ごす時間が多い家庭でも、子供とのコミュニケーション不足な家庭が多いのではないのでしょうか。**

■子供と過ごせる時間 平日の父親は、1日のうち4.2時間。

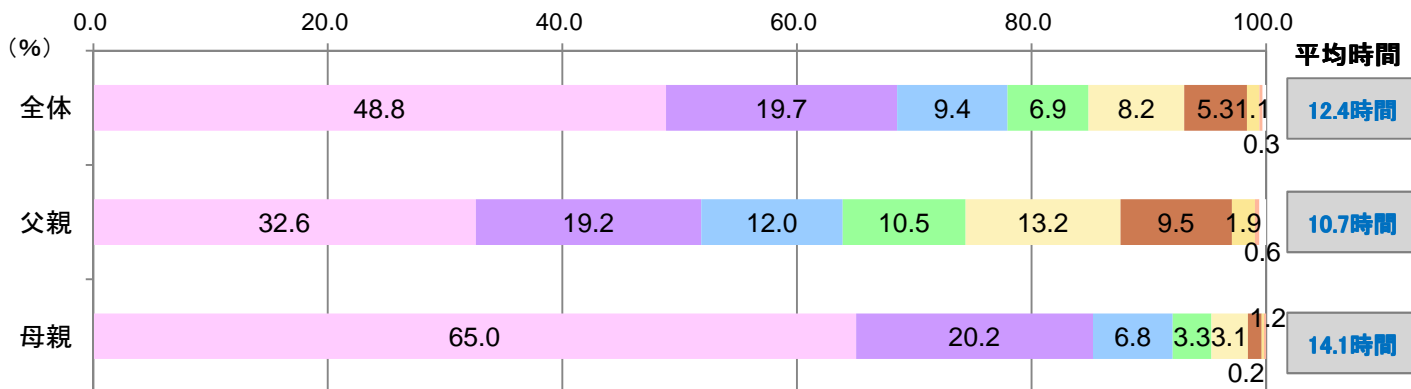
■子供と過ごしている1日の平均時間(父親・母親別)

[Q]お子様と一緒に過ごす時間は1日平均してどのくらいですか。(全体/SA)(N=1030)

平日



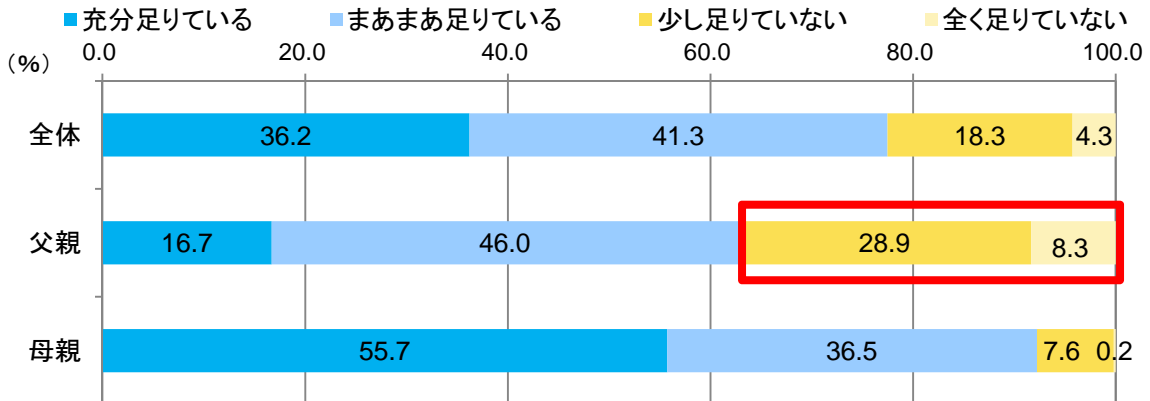
休日



■父親は「子供ともっと過ごす時間が欲しい」と感じている

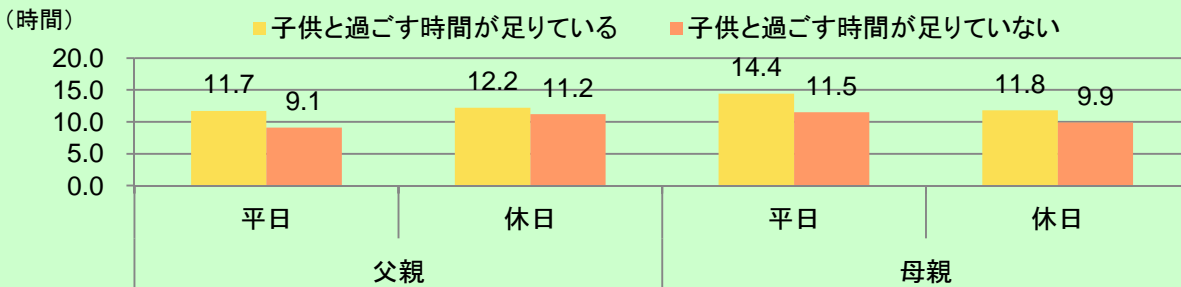
■子供と過ごす時間への満足度(父親・母親別)

[Q] 現状、あなたがお子様と過ごしている時間について、満足度はどのくらいですか。
(全体/SA)(N=1030)



【子供と過ごす時間の満足度別】子供と過ごしている時間の平均

[Q] お子様と一緒に過ごす時間は1日平均してどのくらいですか。(全体/SA)(N=1030)



子供と過ごす時間の満足度別にみると、過ごす時間が「足りている」人と「足りていない人」では父親、母親ともに、特に平日に差が見られたことから、**平日にもっと子供と過ごしたい。という親の意向が見受けられます。**(父親:2.6時間、母親:2.9時間)

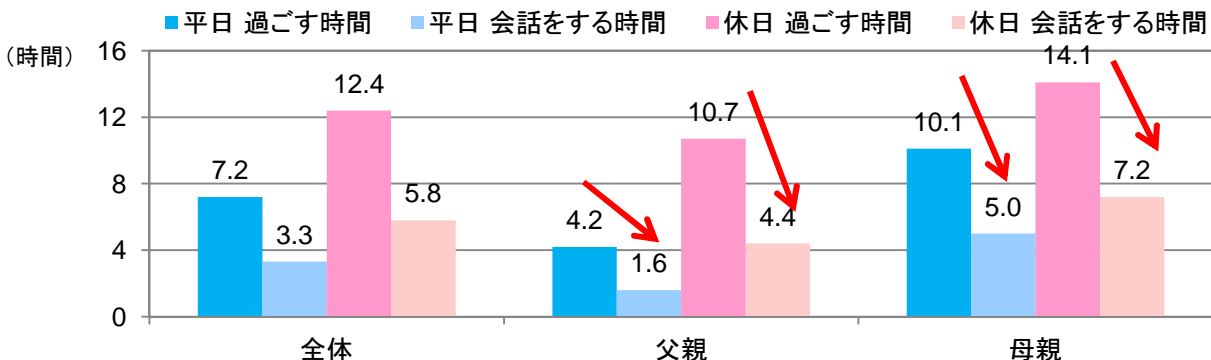
■父親母親ともに、一緒に過ごしている時間に対して、実際に親子で会話をしている時間は半分程度。

■子供と過ごしている時間と会話している時間の比較(父親・母親別)

[Q] 平日/休日に、お子様と一緒に過ごす時間は1日平均してどのくらいですか。(全体/SA)(N=1030)

[Q] 平日/休日にあなたがお子様と直接会話をする時間は1日平均してどのくらいですか。

(全体/SA)(N=1030)



PART2～子供と過ごす時間が多い親・家庭ほど 子供を理解し、のびのび育つ環境に！？～

子供と過ごす時間が多い親は、
日常のささいなシーンでの親子コミュニケーションを重視

- ▶子供と過ごす満足度が高い家庭ほど、
 - ・子供から親に話しかける機会が多い
 - ・「食べる」「寝る」「お風呂」といったささいな日常でのコミュニケーションを重視
 - ・子供への理解度が高く、子供も「明るい」「外交的」「活動的」と、のびのびと育ちやすい環境作りができています

次に、子供と過ごす時間について「足りている」と感じる親と、「足りていない」と感じる親について、日常の子供とのコミュニケーションについて質問したところ、子供と過ごす時間が「足りている」と感じる親・家庭は、「子供から親に積極的に話しかける」機会が多いことがわかりました。**子供と過ごす時間が多い程、子供からも親に話しかけやすく、また親も子供の声に耳を済ましていると言えます。**また、親子コミュニケーションのシーンやシチュエーションについて聞いたところ、子供と過ごす時間が「足りている」と感じる親・家庭は、「夕食」「入浴」「寝る前」など、週末だけでなく、**平日に親子で過ごすちょっとしたシーンでも、子供とのコミュニケーションをとっていることがわかりました。**それにより親子の意思疎通ができているのか、子供と過ごす時間が「足りている」親・家庭は、子供のことを理解している割合が9割以上という結果に。さらに、**子供と過ごす時間が「足りている」家庭の子供は、「明るい」「活動的」「外交的」など、子供が外向きな性格だと答える親が多いという結果となりました。**ちょっとした日常にも親子コミュニケーションを大事にしている家庭は、**子供ものびのびと育ちやすい環境作りがされていると言えるのではないのでしょうか。**

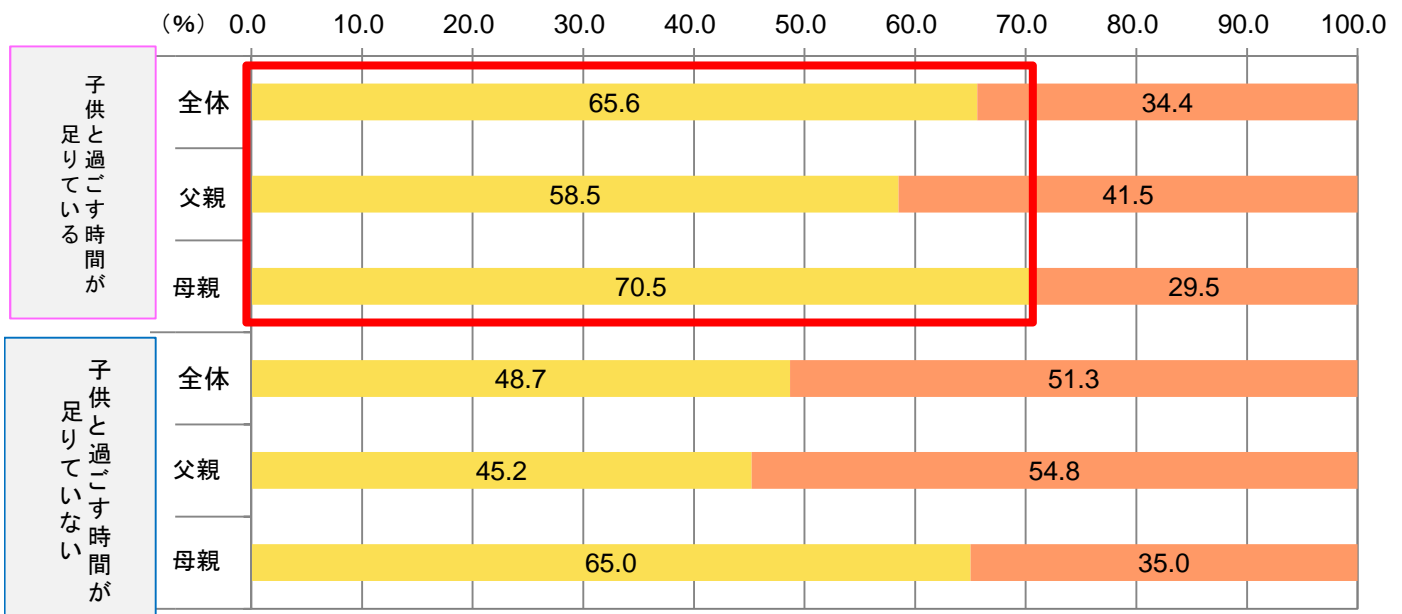
■子供と過ごす時間が多いと、親子コミュニケーションが活発に 子供と過ごす時間への満足度が高い親・家庭ほど、子供の声に耳を済ましている

■子供から話しかける頻度(父親・母親別)

[Q]お子様と会話をする際、あなたとお子様のどちらから話しかけることが多いですか。

(全体/SA)(N=1025)※子供と全く会話をしてない人は除く

■子供からあなた(親)に話しかけるほうが多い ■あなた(親)から子供に話しかけるほうが多い

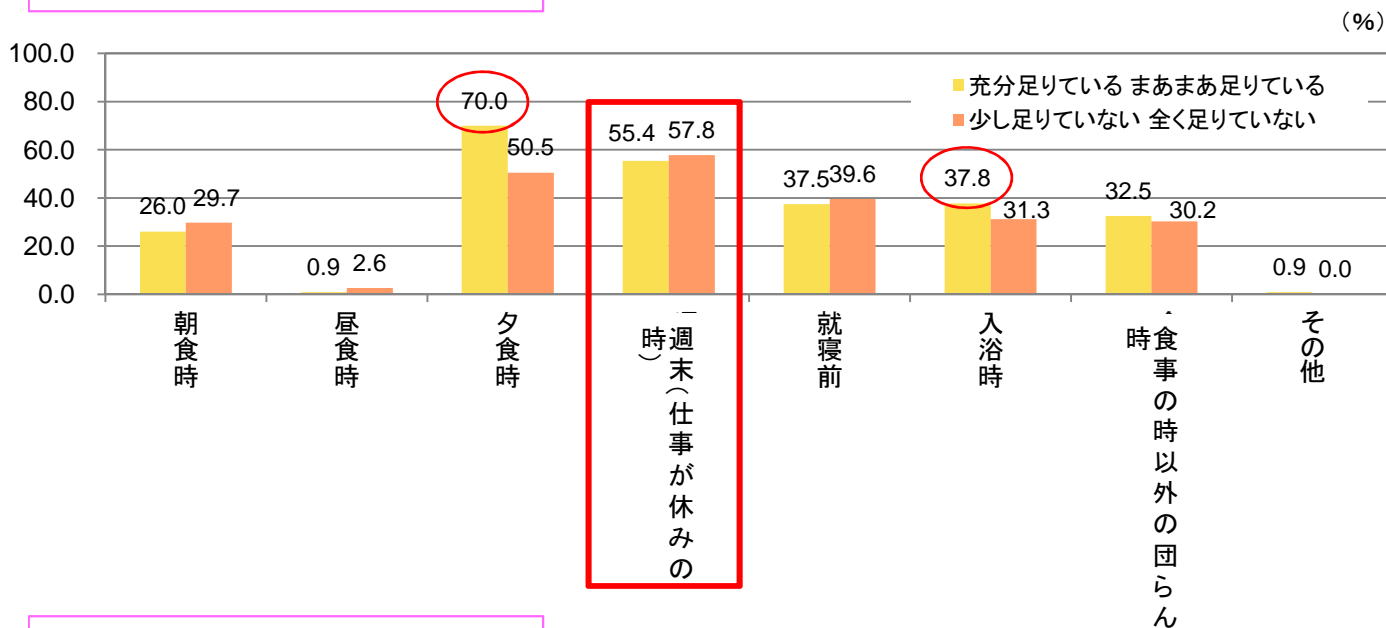


■子供と過ごす時間に満足している親・家庭は、「食事」「入浴」「就寝前」などちょっとした時間での親子コミュニケーションを大事にしている傾向。

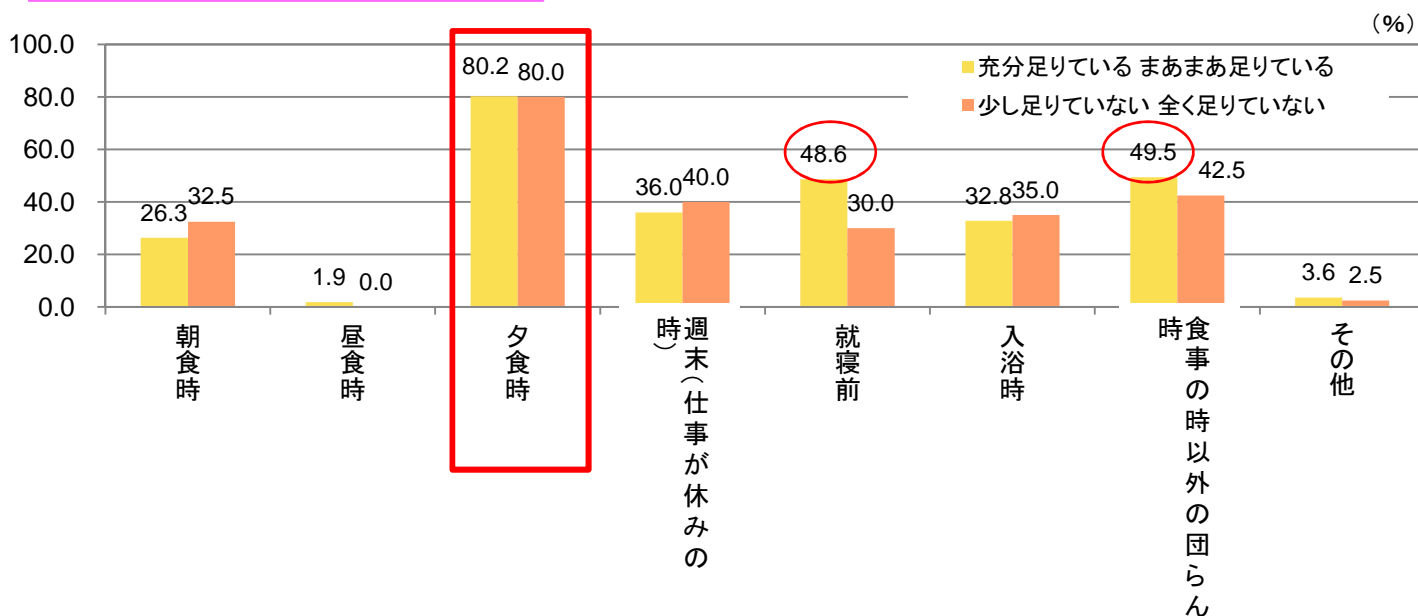
■子供と話すシーン(父親・母親別/子供と過ごす時間への満足度別)

[Q]あなたとお子様コミュニケーションをとる際は、1日のうち、どのようなシーンが多いですか。
(全体/SA)(N=1030)

父親・子供と過ごす時間への満足度別



母親・子供と過ごす時間への満足度別

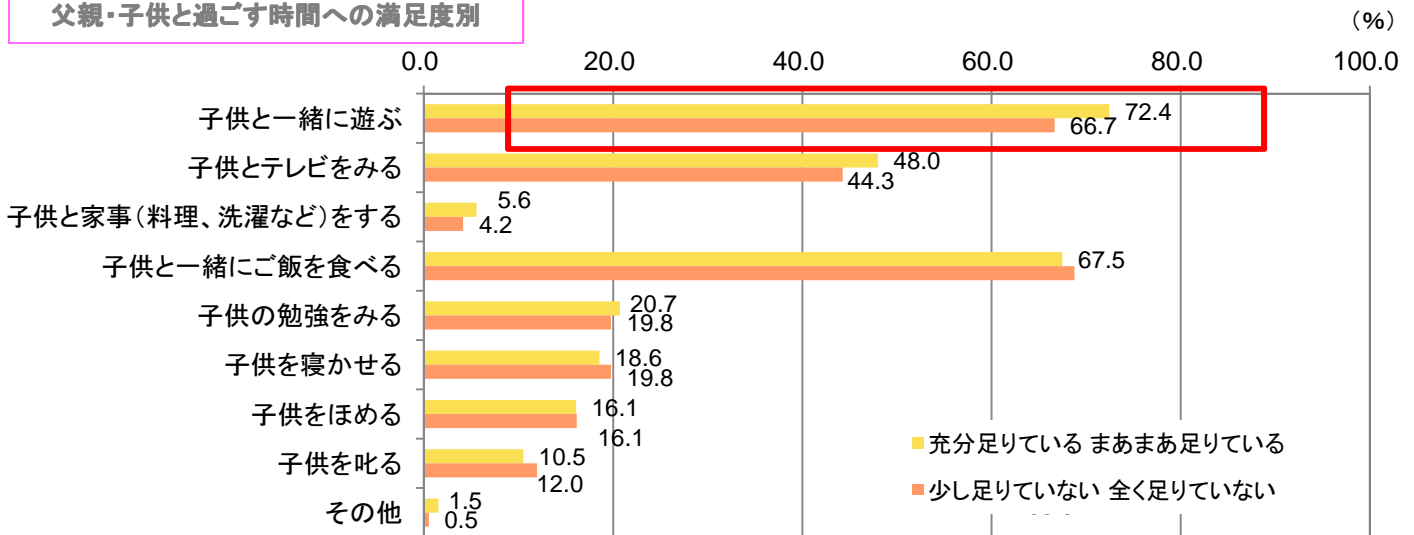


■親子コミュニケーションは「一緒にご飯を食べる」が最多。
父親は「一緒に遊ぶ」シチュエーションも。

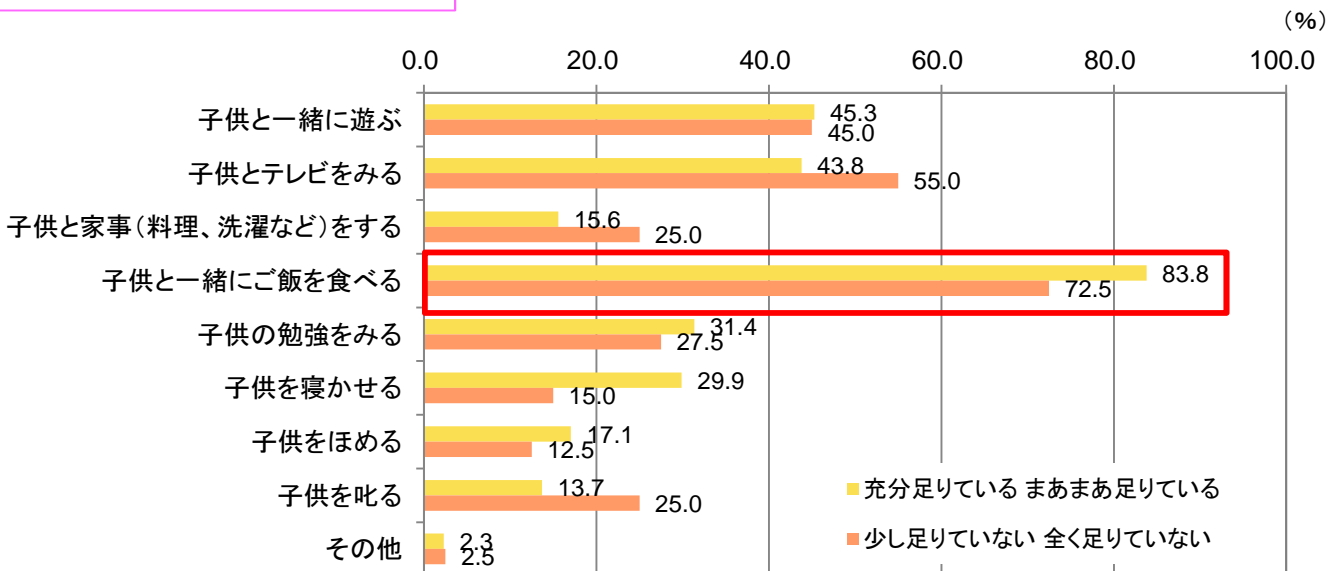
■子供と話すシチュエーション(父親・母親別/子供と過ごす時間への満足度別)

[Q]あなたとお子様コミュニケーションをとる際は、どのようなシチュエーションが多いですか。
(全体/SA)(N=1030)

父親・子供と過ごす時間への満足度別



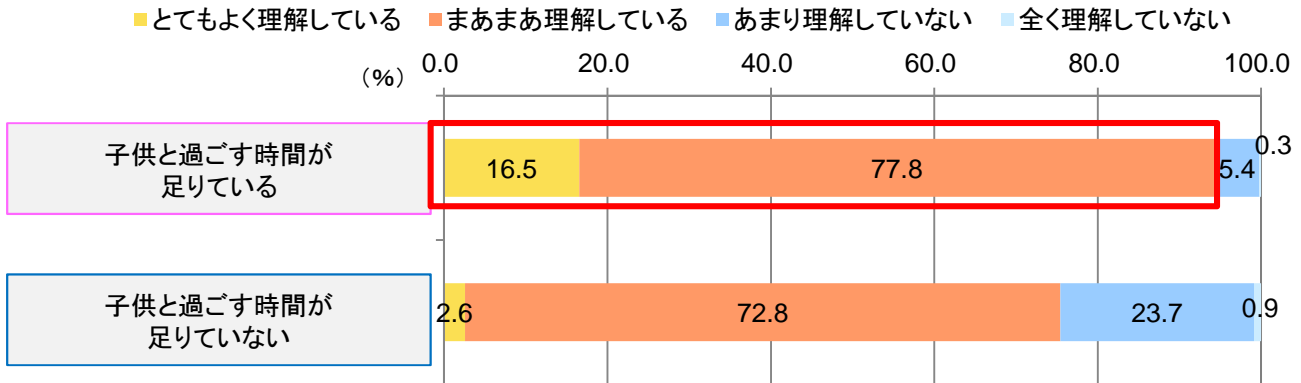
母親・子供と過ごす時間への満足度別



■子供と過ごす時間に満足している親・家庭は、 子供への理解度が高く、子供がのびのびと育ちやすい環境作りができている

■子供への理解度(子供と過ごす時間への満足度別)

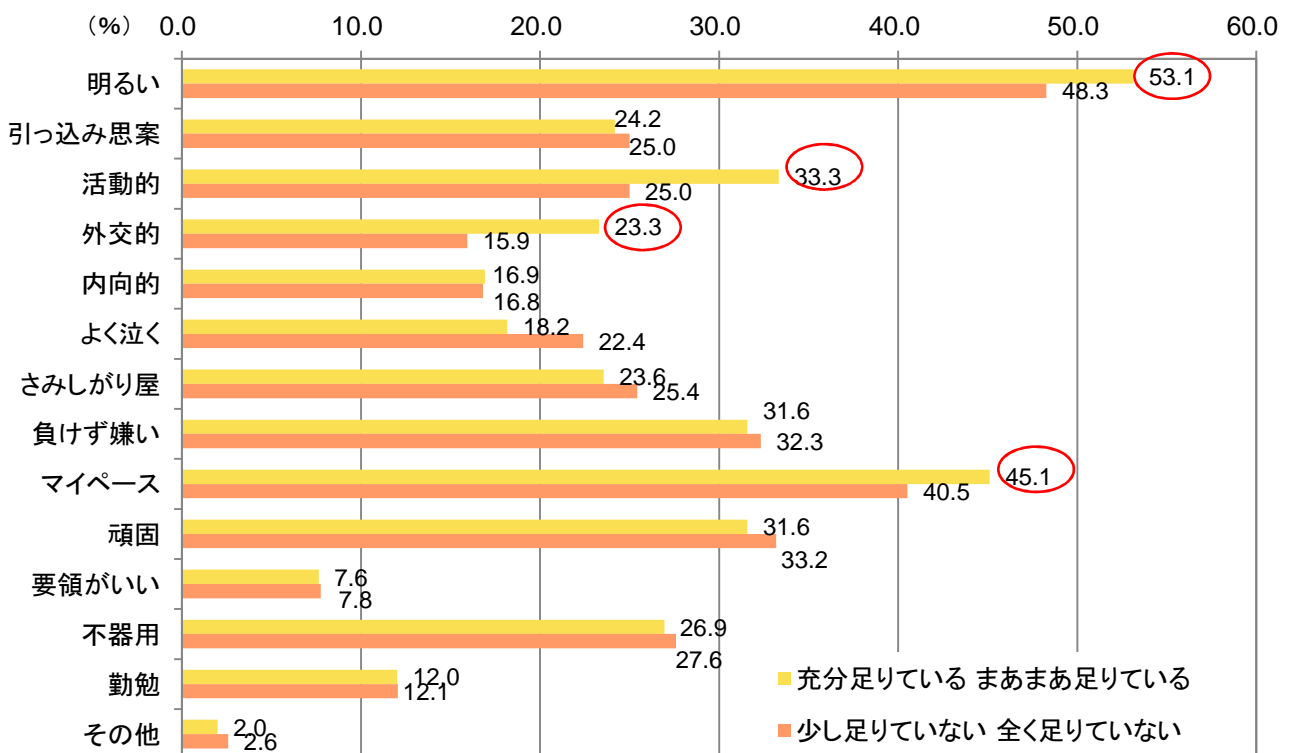
[Q]あなたはお子様のことをどの程度理解していますか。(全体/SA)(N=1030)



■子供の性格(子供と過ごす時間への満足度別)

[Q]あなたのお子様の性格についてあてはまるものを全て選択してください。

(全体/SA)(N=1030)



PART3～忙しい現代の小学生。 父親とはすれ違いがち！？～

親だけでなく、子供だって学校に塾にお稽古に忙しい。
親子でやりたいことは沢山あるが、父親と子供はすれ違いがち。

- 8割以上の父親が、家事参加度「3割以下」。仕事が忙しい父親が多い。
- 現代の小学生は「宿題」「お稽古・塾」と忙しい生活を送っている。
- 親子で今後やりたいこと、父親「子供の勉強をみる」、母親「料理・お菓子づくり」。

そもそも、現代の日本家庭はどうなっているのか、父親の家事参加、子供の行動について聞きました。日本の父親の家事参加度については、「家事を3割以下担当」している父親が8割以上と、**やはり父親は仕事が忙しく、家事や子育てになかなか協力できていない現状が浮き彫りに。また小学生の子供のほうも、学校から帰宅後、「宿題」「お稽古・塾」と、忙しい毎日を送っていることがわかりました。特に、父親と子供はすれ違いの生活になることが多くなってしまいうのかもしれない。**

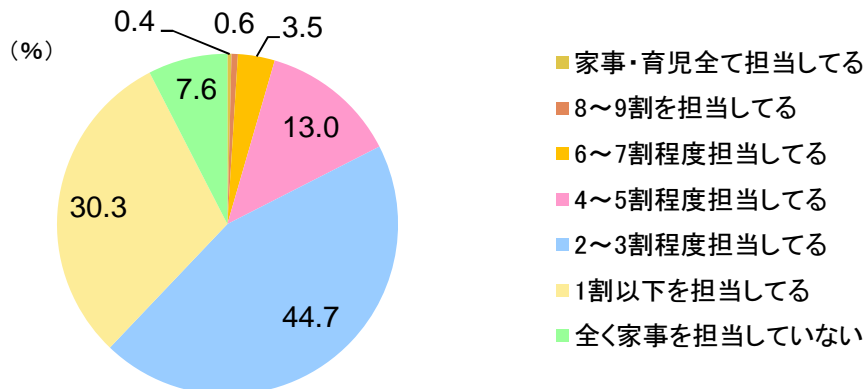
そのような状況の中、やはり日常でのささいな親子のコミュニケーションはとても大事だといえるのではないのでしょうか。

■日本の父親の家事参加度は低い。やっぱり仕事が忙しい。

■父親の家事参加度

[Q]あなたの配偶者様、もしくはあなたご自身は、家事や育児にどれくらい参加していますか。

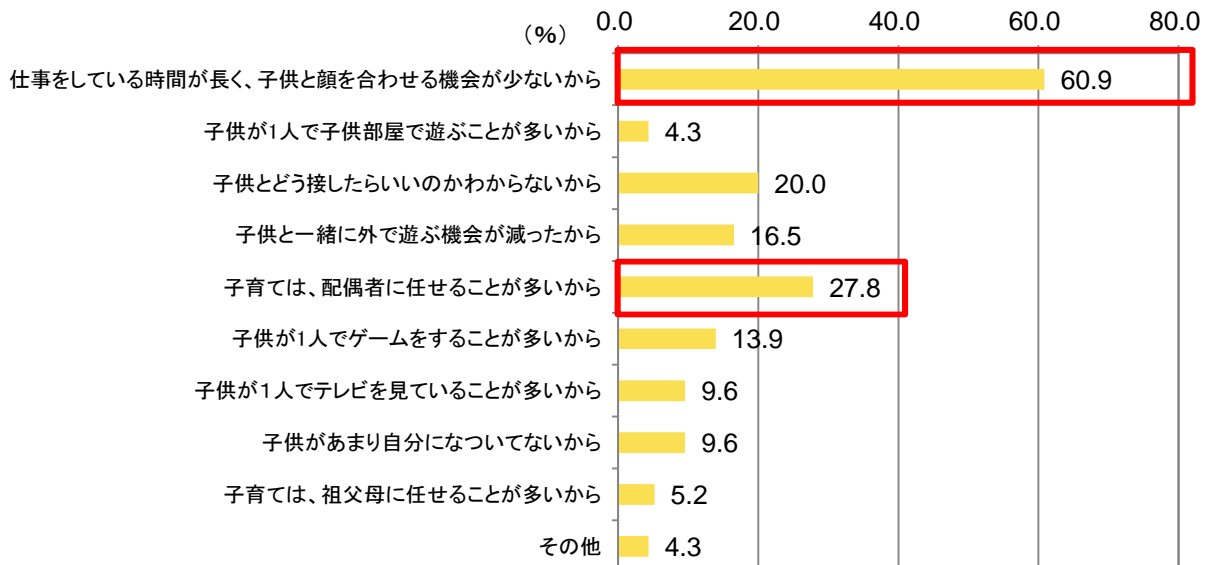
(全体/SA)(N=1030)



■子供とのコミュニケーションがうまくとれない理由(父親)

[Q]あなたとお子様のコミュニケーションがうまくとれない理由はなんだと思いますか。

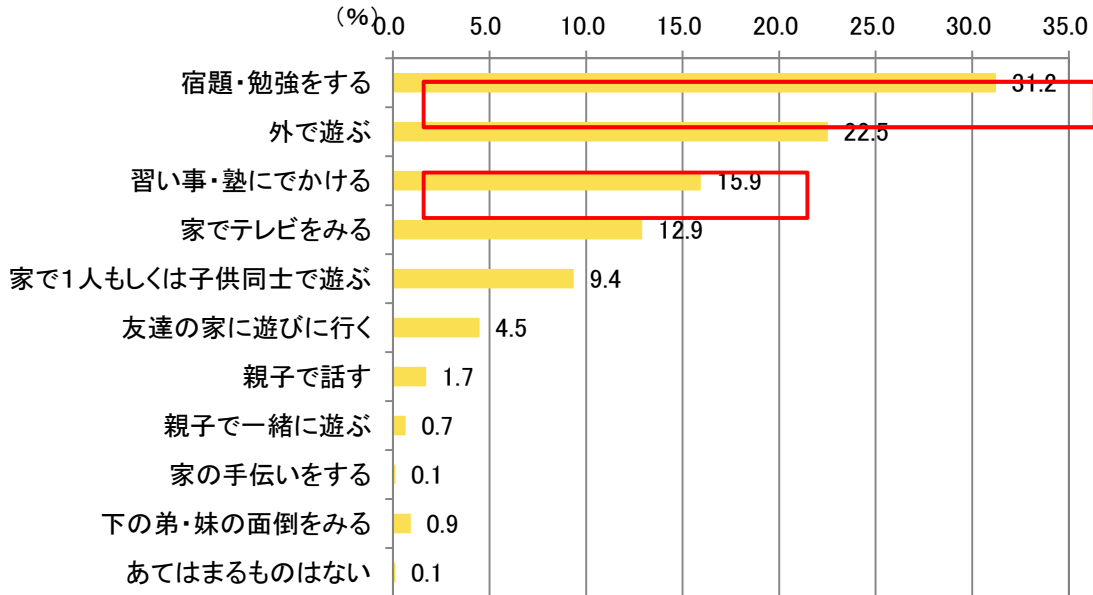
(コミュニケーションがうまくとれない人/SA)(n=190(男性n=115))



■現代の小学生は、遊んでばかりはいられない！？ 「宿題」「習いごと・塾」に忙しい毎日を送っている

■小学校から帰宅後の子供の行動

[Q]あなたの小学生のお子様は、平日、学校から帰宅したあと何をしていますか。
(7～12歳のいる子供/MA)(n=759)



■親子でやりたいこと 母親「料理・お菓子づくり」、父親「子供の勉強をみる」

■小学校から帰宅後の子供の行動

[Q]あなたがお子様とおうちで今後積極的にやってみたいことはなんですか。(全体/SA)(N=1030)

